

西城陽中学校 学力向上プラン H22

BS (ベーシックスタディー) の取組

- ・年間30回に渡って25分間の自主学習
- ・国語・数学・英語の三教科を学年ごとにローテーション
- ・基礎～応用まで三段階の問題を設定

マンディ・フリスタ

び英語において

- ・1年補充学習

選択授業及び

総合的な学習の

時間の充実

- ・学ぶ力の育成

各種検定試験の活用

- ・英語検定、漢字検定、数学検定その他

各種検定試験をそれぞれ年間複数回実施

各教科外部講師の活用

- ・外部講師を活用して、多様な授業による生徒の興味関心を向上

P-Bupシステムの実施

ボランティア等による個別支援を実施

Teaching

「確かな学力の充実・向上」

計画 — 実践 — 評価 — 改善

西中プラン

西中学習ウェイの取組

- ・「わかる授業」の実施に向けての授業統一指導項目と生徒の努力目標を明示

少人数授業の充実

- ・数

全学年年間通した少人数授業の実施

基礎学力充実の取組

授業改善の取組と開かれた学校づくり

- ・学校全体での授業研究会の実施と年間複数回の学校公開と生徒及び保護者による授業アンケートの実施

言語の力の育成

全教科言語の力育成の観点を入れた授業の実施

小中学力連携の推進

実践の手法・視点

「気づく・ふれあう・学びあう」

学習基盤の確立に向けて

朝の読書

- ・望ましい読書習慣の育成
- ・豊かな知識と感性及び豊かな人間性の育成

夏休み学習支援

- ・3年生を対象に、全教員及び学習支援ボランティアによる学習支援の取組

家庭学習ノート

- ・「家庭学習ノート」を各自作成し、学年だより等で啓発することを通しての自主学習の習慣化

終学習

- ・年間を通して終学活時10分間の学習に取り組むことによる基礎学力の定着